

# Unit 1 ようこそ、グリーン先生 (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元は ALT との初対面の場面を扱っており、言語の働きはあいさつや自己紹介である。生徒は小学校英語活動の名刺交換ゲームなどで名前や出身を聞く活動を行っているので、言語の働きについて理解しやすく、言語活動に取り組みやすいと思われる。本単元から Unit としての学習が始まる。小学校英語活動との学習スタイルの違いが大きいと、英語学習に躊躇したり、難しいと感じる生徒もいると考えられるので、紙芝居の手法を取り入れ、各時間の導入において、本文の吹き出しの絵を使い、登場人物のせりふを自由に表現したり、小学校英語活動で使われているペープサートを使用し、場の設定は絵を利用して行い自己表現できるようにしていきたい。その際、せりふの表現は教師から与えるのではなく、絵から状況を考え、それに合った表現を生徒から引き出すようにしたい。その後、本文を音読し、教科書の表現を学習することで、小学校英語活動の言語材料の定着を図ることができるとともに、生徒が中学校英語科へのつながりを意識して学習に取り組むことができると考える。

## 1 目標

- ・ 英語での自己紹介について知り、慣れる。
- ・ Good morning. のあいさつができる。
- ・ 相手の目を見ながら「名」をはっきりとすることができる。
- ・ I am ~. の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 相手確かめることができる。
- ・ 相手の年齢、性に応じた敬称を使うことができる。
- ・ Nice to meet you. のあいさつができる。
- ・ You are ~. の文、その疑問文と肯定の応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 相手の出身国について尋ねたり、それに答えたりすることができる。
- ・ 積極的に対話を継続し、発展させるための一言をつけ加えることができる。
- ・ Are you ~? の文と否定の応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。

## 2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) うなずくなど、相手の話を興味をもって聞いている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないとき、聞き返そうとしている。		(正確な聞き取り) 相手の話を正しく聞き取ることができる。  (適切な聞き取り) あいさつや質問に対して、適切に応じることができる。	(言語についての知識) I am ~. You are ~. Are you ~? の文の意味・構造を理解している。 (文化についての理解) 先生も生徒を「名」で呼ぶことを理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 間違ふことを恐れず、自己紹介や相手のことを尋ねようとしている。 (コミュニケーションの継続) No の後に一言付け加え、会話を継続させようとしている。	(正確な発話) I am ~. や You are ~. とその疑問文を正しく用いて話すことができる。 (適切な発話) 初対面のあいさつや問いかけに、適切に応答することができる。		(言語についての知識) 疑問文と平叙文の語尾の上げ下げに関する知識がある。  (文化についての理解) あいさつのときに Eye contact をする大切さを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) 音と文字の関係に気を付けながら、本文を音読しようとしている。	(正確な音読) 強勢や抑揚を意識して正しく音読することができる。 (適切な音読) 適切な音量で読むことができる。	(正確な読み取り) グリーン先生と生徒の対話文の内容を正しく読み取ることができる。	(言語についての知識) Are you ~? などの文の意味や構造を理解している。 (文化についての理解) Ms. Mr. などの敬称を理解している。
書くこと	(言語活動への取組) 英語を文に表すことに関心を持ち、書いている。	(正確な筆記) 大文字、小文字の使い方に気を付け、正しく書くことができる。		(言語についての知識) I は常に大文字であることを理解している。

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい( )と 学習活動( )	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① 自己紹介の歌を歌う。</p> <p>Part1の内容を聞き取り、I am ~.の用法を理解する。</p> <p>② 本文のさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。</p> <p>③ 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。</p> <p>④ Part1の内容を聞き取り、自分のせりふの表現との違いを知る。</p> <p>⑤ I am ~.で表せる内容を理解する。</p> <p>⑥ Part 1の新出単語を練習する。</p> <p>⑦ T or F, Q and Aで内容を確認する。</p> <p>⑧ 本文の音読練習をする。</p> <p>あいさつやI am~.を使い絵の場面に合う会話ができる。</p> <p>⑨ 与えられた絵から、場面を考え、それに合う会話をペアで発表する。</p>	<p>雰囲気作りのため教師も大きな声で歌うようにする。</p> <p>黒板に吹き出しを空欄にしたピクチャーカードをはり、会話の順に番号をつけておくことで、場面を理解できるようにする。</p> <p>たくさんの表現を引き出すために、出会いの場、別れの場など自由に発想してもよいことを伝える。友達の発表を聞き、表現を思い出せるようにする。</p> <p>名前はMy name is~.の他I'm ~.でも表現できることを確認する。</p> <p>I am~.を使う場面を理解できるように、気分や健康状態、年齢、職業などI am~.で表せる語を絵で示す。</p> <p>音と文字を結び付けるために、フォニックスを取り入れた音声指導を行うようにする。</p> <p>文字への抵抗を感じないようにするために、Q and Aは文字ではなく、音声で行う。</p> <p>音と文字の関係を意識しながら音読するよう助言する。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>場面を考えて会話できるように、本文のさし絵に5で使用した絵、場所や時刻を表す絵を加える。</p> <p>朝や夜のあいさつ、砂漠でのあいさつなどの条件を与え、興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>本文をまねして、場面に合うように単語を置き換えて表現するよう助言する。</p>	<p>アイウ</p> <p>アイウエ</p>	<p>グリーン先生と絵美のあいさつの内容を理解し、音読することができる。</p> <p>A 内容を正しく読み取り、英語らしいイントネーションで読むことができる。</p> <p>B 内容を読み取り、モデルをまねして読もうとしている。(観察)</p> <p>あいさつやI am~.の表現を場面に応じて使うことができる。</p> <p>A 場面に応じて適切に自分のことを表現したり、あいさつをすることができる。</p> <p>B I am~.を用い、自分のことを表現することができる。(観察、発表)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑩ 自己紹介の歌を歌う。</p> <p>Part 2の内容を聞き取り、Are you~?の用法を理解する。</p> <p>⑪ 本文のさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。</p>	<p>あいさつの表現を確認して、表現の定着を図れるようにする。</p> <p>Part 1からの続きの場面であることを印象付けるために、登場人物ごとに絵をはり、前時の復習を</p>		

<p>2</p>	<p>12 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。</p> <p>13 Part2 の内容を聞き取り、新しい表現を知る。</p> <p>14 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>15 T or F, Q and A で内容を確認する。</p> <p>16 本文の音読練習をする。</p> <p>Are you~?を使い相手を確認し、初対面のあいさつができる。</p> <p>17 自分が登場人物の1人となり、会話を行う。</p>	<p>しながら場面を変えていくようにする。</p> <p>ペープサートを使い人物に動きをつけることで、活発に発表が行えるようにする。</p> <p>前時の表現を使いながらペアで協力するように助言する。</p> <p>Are you ~?という表現は小学校英語活動ではあまり使用されていないので、I am~. との意味の違いを説明し理解できるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けるためにフオニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>内容は直訳せず自然な会話として理解できるようにする。</p> <p>暗唱できるように、Read and look up, shadowing など様々な読み方で練習する。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>表現の定着を図るために、ペープサートで自分の人形を作り、3人のうちの1人になって会話をするという場を設定する。</p> <p>Shin のせりふをまねして練習するよう助言する。</p>	<p>アイウエ</p> <p>本文の内容を理解し、イントネーションに気を付け音読できる。</p> <p>A 内容を正しく読み取り、正しいイントネーションで音読できる。</p> <p>B 場面が分かり、疑問文は語尾を上げて読むことができる。(観察、ワークシート)</p> <p>相手のことを確認し、初対面のあいさつができる。</p> <p>A Are you~?を正しく用いて積極的に対話している。</p> <p>B Are you~?を用いて会話し、初対面のあいさつができる。(観察、発表)</p>
<p>3</p>	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>18 自己紹介の歌を歌う。</p> <p>Part 3 の内容を聞き取り、from の用法を理解する。</p> <p>19 本文のさし絵に国旗が加わった絵を見て、吹き出しのせりふを考える。</p> <p>20 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。</p> <p>21 Part3 の内容を聞き取り、自分のせりふとの違いを知る。</p> <p>22 Part3 の新出単語を練習する。</p> <p>23 T or F, Q and A で内容を確認する。</p> <p>24 本文の音読練習をする。</p> <p>Are you(from)~?を理解し、場面を考え対話することができる。</p>	<p>文字に注意をして歌うことができるように、歌う前に歌詞を読むようにする。</p> <p>出身国を尋ねる会話であることをとらえることができるように、はじめはカナダの国旗のみをグリーン先生のところに示すようにする。</p> <p>Where are you from?以外の表現に気付けるように、慎の所にアメリカとカナダの国旗を示す。</p> <p>Where are you from?と Are you from~?の違いに気付けるように表現を板書する。</p> <p>内容は直訳ではなく自然な会話として理解できるようにする。</p> <p>暗唱できるように、Read and look up, shadowing など様々な読み方をする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p>	<p>アイウエ</p> <p>本文の内容を理解し、イントネーションに気を付け音読できる。</p> <p>A 内容を正しく読み取り、正しいイントネーションで音読できる。</p> <p>B 場面を理解し、America, Canada を正しいイントネーションで読むことができる。(観察、ワークシート)</p>

	<p>25 本文のさし絵を使い、<b>絵美</b>になったり、登場人物として加わったりして対話する。</p> <p>絵美に吹き出しをつけたり、<b>ペーパーサート</b>で自分が加わった時のあいさつなどの発表を行い、表現が定着できるようにする。</p>	ア イ ウ エ	<p>場面を考え、対話することができる。</p> <p>A I'm~. Are you~?を正しく使い、場面に合った対話を行うことができる。</p> <p>B I'm~. Are you ~?を使い、対話することができる。 (発表)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>26 <b>自己紹介の歌を歌う。</b></p> <p>場面を考え、自己紹介の会話ができる。</p> <p>27 本文の登場人物になりき<b>り</b>、対話を発表する。</p> <p>自己紹介や相手の確認を英語で行えるようにする。</p> <p>28 出身小学校や性格などを表した自己紹介カードを書く。</p> <p>29 友達のカードを読み、質問し、誰が書いたのか<b>推測</b>するゲームをする。</p>	<p>強弱に注意できるように、歌詞を読みながら歌うようにする。</p> <p>対話を活発にするために、<b>さし絵</b>や<b>ペーパーサート</b>を使ったり、場面を示したり、動きを付けたりする。</p> <p>本文をまねして対話を考えるよう助言する。</p> <p>性格を表す言葉リストを配布し、書くことを助ける。</p> <p>I am~.の紹介文には名前は書かないよう伝える。</p> <p>何をどう書けばよいかの参考にするために見本を示すようにする。</p> <p>文の書き方のきまりに注意できるように、教科書 P21 を参考にすよう伝える。</p> <p>表現の定着を図るために、Are you~?を使った質問を考えるよう伝える。</p> <p>No で答えた場合はさらに説明を加えるように促す。</p> <p>持ち主の名前を You are~.を使いカードに書くよう伝える。</p> <p>答えは発表で確認できるようにする。</p>	ア イ ウ エ	<p>I am~.Are you~?を用い簡単な紹介文を書き、人の名前や内容を尋ねたり、応答することができる。</p> <p>A 自分について正しく書き表すことができ、相手の質問に適切に回答したり、尋ねたりして会話ができる。</p> <p>B 名前や出身を英語で書くことができ、相手の質問に回答したり、相手に質問することができる。 (観察、ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案(Unit 1) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時は Unit 学習の初めての時間である。小学校英語活動との学習形態があまりに異なると抵抗を感じてしまう生徒がいると思われるので、紙芝居の指導方法を取り入れ、和やかに学習に取り組めるよう工夫したい。小学校英語活動において、あいさつや自己紹介の表現にたくさん触れているので、教師が表現を与えるのではなく、絵を示し、それにふさわしい表現を生徒が考え、使うことによって、言語の働きを理解し、表現の定着を図れるようにしたい。また、小学校英語活動では別単元で学習していた健康状態や年齢の言い方を、本時でまとめて導入し指導することにより、生徒は I am~.の文で表現できる同じ形の文であると整理して理解することができる。そして理解した知識を使って、本文を応用した会話作りをすることで表現の幅を広げていきたい。与える状況や条件に用いる語は、小学校英語活動と中学校英語科のつながりを意識できるように、小学校英語活動で親しんでいる単語を絵と文字で示しながら導入し、生徒が自信を持って小学校英語活動の学習から中学校英語科の学習に移行できるようにする。

1 本時の目標

- ・ あいさつや I am~.を使って自己紹介ができる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 自己紹介の歌を歌う。	英語学習の雰囲気作りのために教師も大きな声で歌うようにする。	
10	Part1 の内容を聞き取り、I am~.の用法を理解する。	本文のさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。  小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。 Hello. Hi. Good morning. Good afternoon. See you. Good-bye. How are you? I'm fine. My name is~. など	対話の流れが分かりやすいように、黒板にさし絵をはり、せりふの順に吹き出しに番号をふる。 会話が広がるように、出会いの場面、別れの場面など、絵を見て場面は自由に発想できるようにする。 ペアで登場人物になって発表できるようにし、単語のみのやり取りも認め、ジェスチャーや表情を大切にしよう助言する。	
20	Part1 の内容を聞き取り、本文のせりふを確認する。  I am~.の用法を理解し、練習する。  Part1 の新出単語を練習し、c.g の読みと書き取り練習をする。	Part1 の内容を聞き取り、本文のせりふを確認する。  I am~.の用法を理解し、練習する。  Part1 の新出単語を練習し、c.g の読みと書き取り練習をする。  green, glue, grapes, candle, computer, Christmas 本文についての質問に答える。 本文の音読練習をする。	自分たちのせりふとの違いを考えられるように、表現の違いを板書する。 名前の言い方は My name is~.の他 I am~.で表現できることを確認する。 I am~.を使う場面を理解できるように、気分、健康状態、年齢、職業などの言い方を絵で示す。 意味とつづり、読み方の定着を図るために、フラッシュカードを使う。 good, morning の g と cake, coffee の c の発音指導と書き取り練習を、小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 T or F, Q and A で内容を確認できるようにする。 音と文字の関係に気付けるように音読を工夫して行うようにする。	本文を理解し、英語らしく読んでいる。
15	あいさつや I am~.を使い絵の場面にあう会話ができる。	与えられた絵から場面を考える。  絵で示された条件にあう表現を考え、発表する。	場面をとらえやすくするために、本文のさし絵に気分、健康状態などの絵、場所や時刻を示す絵を加えるようにする。 本文を参考に、名前を変えたり、表現を付け加えたりするよう伝える。 絵を掲示し、動作をつけ自然な形で対話をし、相手の目を見てあいさつをする大切を理解できるようにする。	場面に応じたあいさつや会話ができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

Part1 からの学習のつづきであるので、本時もさし絵を使って導入を行う。前時との違いは、絵美、グリーン先生の他に慎が加わることである。そのため場面の移り変わりを、登場人物をペープサートで動かすことでとらえることができるようにしたい。登場人物が2人の会話でI am~.の復習を行い、そこにもう1人加わるとどんな会話になるかペープサートの動きを見ながら考えることは、場面をきちんと理解する手助けとなり、適切な表現を引き出すことになると考える。ただ、小学校英語活動においてはAre you ~?の表現を使用することは少ないので、相手確かめる時にAre you ~?の表現を使う生徒がどれくらいいるかは疑問であるが、本文の対話を聞き、Are you~?の表現に気付けるようにし、前時のI am~.の表現と結び付けて指導したい。そして新しい表現を理解した後、ペープサートで自分を作り、本文の場面に登場させて対話することで、言語材料の定着を図りたい。

1 本時の目標

- ・ Are you ~?を用いて相手確かめることができる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、ペープサート、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 自己紹介の歌を歌う。	英語学習の雰囲気作りのために、英語で簡単なやりとりを行うようにする。 あいさつの表現を確認し、定着を図れるようにする。	
10	Part2の内容を聞き取り、Are you ~?の用法を理解する。	ペープサートで場面を理解し、吹き出しに入るせりふを考える。 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。  How are you? I'm fine, thank you. And you? What's your name? Nice to meet you. I'm a student. など	場面をとらえられるように、3人の人物をペープサートで動きをつけて取り入れる。 人物を動かしながら、前時の復習をする。 せりふが考えやすいように、発表はペアで慎とグリーン先生になって行うようにする。	
15		Part2の内容を聞き取り、新しい表現を知る。 Part2の新出単語を練習し、t,dの読みと書き取り練習をする。  not, hot, train, good, dentist, dragonfly  本文についての質問に答える。 本文の音読練習をする。	I am~, You are~, Are you ~?の関係に気付けるように、表現を板書する。 意味とつづり、読み方の定着を図るために、フラッシュカードを用いる。 too, meet, toのtとdesk, saladのdの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字が結び付けられるようにする。  T or F, Q and Aで内容を確認できるようにする。 暗唱できるように、Read and Look upで繰り返し練習する。	本文を理解し、イントネーションに気を付けて読んでいる。
20	Are you~?を用いて相手を確認し初対面のあいさつができる。	自分も登場人物になり、4人での会話の場面を考える。  ペアになり、グリーン先生役を交代しながら対話を発表する。	会話の場面をとらえやすくするために、ペープサートで自分の人形を作るようにする。 ペアでグリーン先生役を交代して対話を行うよう伝える。 教師も絵美役、慎役として加わり、会話を発展させるようにする。	相手を確認しながら対話ができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時では from の使い方を理解できるようにする。小学校英語活動において、Where are you from?の表現には親しんでいるので、さし絵に国旗の絵を加えて示すことにより、表現を思い出す生徒が多いと思われる。しかし、Are you from~?の表現は馴染みがないため、さし絵の慎の吹き出しに、アメリカの国旗の絵を疑問符とともに加えて示し、その状況においては Where are you from?を使うことは不自然であることに気付けるようにし、より適切な表現である Are you from~?を生徒から引き出したい。また、さし絵の絵美に吹き出しを書き足すなど発展させ、既習表現を使い自由に考えたことを自己表現できるようにしたい。

1 本時の目標

- ・ 出身国を尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ペープサート、国旗（絵）、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 自己紹介の歌を歌う。	Are you~?を用いて簡単なやり取りを行うことで、前時の復習ができるようにする。 文字に注意できるように歌詞を見ながら歌うよう促す。	
10	Part 3 の内容を聞き取り、from の用法を理解する。	国旗の絵を加えたさし絵を見て、吹き出しに入るせりふを考える。 小学校英語活動の表現を思い出し、せりふを発表する。 ~~~~~ Where are you from? I'm from Canada. I live in Japan. など	from を使った表現に気付けるように、グリーン先生の横にカナダの旗を加えるようにする。 出身だけで終わらず、会話を続けるよう促す。	
15		アメリカの旗が加わったさし絵を見て、場面に合ったせりふを考える。 ----- Part3 の内容を聞き取り、本文のせりふを確認する。 Part3 の新出単語を練習し、f の発音と書き取り練習をする。 ~~~~~ fish, fox, fan, leaf	慎の気持ちを表すさし絵にアメリカの旗を加えることで、アメリカ出身と予測したときに Where で尋ねることの不自然さに気が付くことができるようにする。 ----- Where are you from? だけでなく Are you from~?を使う場面を理解できるように説明する。 意味とつづり、読み方の定着を図るために、フラッシュカードを用いる。 from の f の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 T or F, Q and A で内容を確認できるようにする。 America, Canada のアクセントに注意するよう促す。	本文を理解し、アクセントやイントネーションに気を付けて読んでいる。
20	Are you (from) ~?を用いて場面を考え対話できる。	自分も登場人物として加わり、国旗を加え、対話を考える。 絵美に吹き出しを作ったりして、グループで登場人物になり対話を発表する。	ペープサートでさし絵の場面に登場し、さらに国旗を加えることで、自由に対話を考えることができるようにする。 ペープサートを使い、役割を決めて行うことで、場面を考えて発表できるようにする。 グリーン先生と生徒達という場面の会話にも取り組めるようにする。	登場人物になり対話することができる。